

口腔顎顔面外科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	近藤 壽郎 (顎顔面外科学)

学修目標 (G I O) と 単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：7 ・学修目標 (G I O)：口腔顎顔面領域にみられる先天異常と発育異常 (奇形・変形), 損傷, 炎症性疾患, 口腔粘膜疾患, ウイルス感染症, 嚢胞性疾患, 腫瘍, 唾液腺疾患, 顎関節疾患, 神経疾患と心因性疾患, 血液疾患と出血性素因, 全身疾患と症候群は, 口腔外科臨床でしばしば遭遇する疾患である。それらの基本的な病態を理解し, 臨床所見を把握することは重要, 不可欠であり, 口腔外科臨床に直結する内容である。そのためにそれぞれの成因, 病態, 診断学, 治療学を学び理解する。
担当教員	近藤 壽郎、小宮 正道、大峰 浩隆、西村 均、青木 暁宣、※秋葉 正一、池谷 美和、※鶴澤 一弘、※大木 秀郎、小倉 直美、※釜崎 直人、※神野 良一、※坂田 勝之、※酒巻 裕之、※菅谷 和之、高橋 康輔、※高橋 哲、※塚原 宏泰、※戸邊 真希子、※野上 俊雄、※樋口 和夫、※武川 寛樹、※湊 耕一、※村井 正彦、※横尾 聡、久山 佳代、宇都宮 忠彦、岡田 裕之、福本 雅彦、金田 隆、川島 雄介、※藤井 彰、※和氣 裕之、小野 眞紀子、※小俣 裕 昭、※田島 秀人、※田所 英之、田中 茂男、※中山 桂二、濱野 美緒、※林 裕、山口 桜子、山本 泰、山根 潤一、落合 智子、※石井 達郎、伊東 浩太郎、村松 輝晃、伊藤 耕、河島 睦、藤本 陽子、枝 卓志
教科書	サクシント口腔外科 内山 健志、近藤 壽郎 他 学建書院 標準口腔外科学 第4版 野間 弘康 他、近藤 壽郎 他 医学書院 口腔外科学第4版 泉 廣次、工藤 逸郎 監修 学建書院 サイコ・デンティストリー 歯科医のための心身医学・精神医学 第2版 和氣 裕之 砂書房 口腔外科学実習書 日本大学松戸歯学部口腔外科学編 石井 達郎、近藤 壽郎、小宮 正道、西村 均 他 日本大学松戸歯学部口腔外科学講座
参考図書	口腔外科学 宮崎 正 医歯薬出版 口腔病理アトラス 高木 實 文光堂
実習器材	302マリチメディア
評価方法 (E V)	講義・演習を1/5 以上を欠席した場合、評価点は0 - 60 点とする。なお平常試験の追・再試験は行わない。 評価：平常試験 (4 回) と実習・実習試験 によって総合評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。 実習：実技評価、実習態度 (出席状況：実習の欠席は0 点とする) で評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	口腔外科領域の疾患は広範囲ですべてが歯科臨床で必要不可欠であり、CBT と国家試験に多くの問題が出題されるので予習・復習をしっかりと行なうこと。臨床実習に向けて基礎的知識を十分に学んで欲しい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/05 (水) 1時限 09:00~10:30	ガイダンス 口腔外科総論	<p>【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域の疾患を説明できるようになるために知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔顎顔面領域の疾患には、どのような疾患があるか述べることができる。 2. 口腔顎顔面領域疾患の治療法を概説できる。 3. 現在まで学習した科目が口腔顎顔面領域にどのように関与しているか述べる ことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：どのような疾患があるかを学習するので教科書サクシント を熟読する。 ・準備学修時間：30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙でき る。</p>	近藤 壽郎 西村 均
2017/04/05 (水) 2時限 10:40~12:10	口腔外科総論	<p>【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域の疾患説明できるようになるために必要な知識を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔外科診断学を理解する。 2. 得られた情報を整理、推理し診断できる。</p>	近藤 壽郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/05 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔外科総論	<p>3. 口腔顎顔面領域の疾患の診察法, 問診法, 診断法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目: ①口腔の主要症候 ②医療面接の項目 ③口腔に行われる検査項目 ・準備学修時間: 40分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2017/04/12 (水) 1時限 09:00～10:30	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために, 裂奇形を理解する。 2. 裂奇形について説明できる。 3. 唇裂の分類について説明できる。 4. 唇裂による障害について説明できる。 5. 口蓋裂の分類について説明できる。 6. 口蓋裂による障害について説明できる。 7. 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目: 顔面・口腔の裂奇形の分類 奇形の発生 ・準備学修時間: 60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	酒巻 裕之
2017/04/12 (水) 2時限 10:40～12:10	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために, 必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために, 裂奇形を理解する。 2. 裂奇形について説明できる。 3. 唇裂の分類について説明できる。 4. 唇裂による障害について説明できる。 5. 口蓋裂の分類について説明できる。 6. 口蓋裂による障害について説明できる。 7. 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	酒巻 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/12 (水) 2時限 10:40～12:10	顔面・口腔の裂奇形	<p>・準備学修項目：顔面・口腔の裂奇形の分類 奇形の発生</p> <p>・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	酒巻 裕之
2017/04/19 (水) 1時限 09:00～10:30	奇形・変形	<p>【授業の一般目標】 口腔領域の奇形・変形を説明できるようになるための知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べることができる。 2. 歯の異常の種類を述べるができる。 3. 歯の異常による障害と続発症、治療法を述べるができる。 4. 口唇の異常（裂奇形以外）の分類、障害、治療法を述べることができる。 5. 舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の異常，軟組織の異常</p> <p>・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 オ 舌・口底の異常</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 エ 口唇・頬部の異常 オ 舌・口底の異常 キ 小帯の異常 ク 先天異常と変形に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p>	田中 茂男
2017/04/19 (水) 2時限 10:40～12:10	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の治療方針について概説することができる。 3. 唇裂の手術法を説明できる。 4. 口蓋裂に関する手術法を列記できる。 5. 口蓋裂に関する手術法の目的について説明できる。 6. 口唇・口蓋裂児および家族に対する指導内容について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顔面・口腔の裂奇形の分類 顎奇形・唇顎口蓋裂の分類</p>	大峰 浩隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/19 (水) 2時限 10:40～12:10	顔面・口腔の裂奇 形	唇顎口蓋裂による障害 ・準備学修時間：50 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。	大峰 浩隆
2017/04/26 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨の異常	【授業の一般目標】 顎骨の変形・異常を説明できるようになるために必要な知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨の変形を呈する疾患を診断し管理するため顎骨異常に対する診断法と治療方針を説明できる。 2. 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 3. 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 4. 顎変形症の治療方針について説明できる。 5. 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎骨の変形を呈する疾患 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 キ 顔面 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。	高橋 康輔
2017/04/26 (水) 2時限 10:40～12:10	損傷総論 顎・口腔の損傷 歯の外傷 顔面・口腔軟組織 の損傷	【授業の一般目標】 顎・口腔の損傷、歯の外傷、顔面・口腔軟組織の損傷について述べることができるように学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 損傷の原因、分類、症状、創傷の治癒過程を理解し、治療方針および後遺症について概説できる。 2. 歯の外傷の特徴、分類、臨床症状を理解し、診断および治療方針を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：損傷の総論 歯の外傷 ・準備学修時間：40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（LS）】 講義	田中 茂男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/26 (水) 2時限 10:40～12:10	損傷総論 顎・口腔の損傷 歯の外傷 顔面・口腔軟組織の損傷	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 2 軟組織の損傷 ウ 損傷に対する治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 2 軟組織の損傷 ア 口腔軟組織の損傷 イ 顔面軟組織の損傷 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 ウ 歯槽骨骨折</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	田中 茂男
2017/05/10 (水) 1時限 09:00～10:30	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折 1	<p>【授業の一般目標】 顎顔面骨の骨折について述べることができるように学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎顔面骨折の分類、原因、頻度、全身の合併症および好発部位を理解し、概説できる。 2. 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎顔面骨の骨折 ・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 カ 上顎骨骨折</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 イ 骨折の様態 カ 上顎骨骨折 キ 頬骨・頬骨弓骨折 ク 鼻骨骨折 ケ 眼窩壁吹き抜け骨折</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。</p>	田中 茂男
2017/05/10 (水) 2時限 10:40～12:10	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折 2	<p>【授業の一般目標】 顎顔面骨の骨折について述べるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。 2. 顎顔面骨折の診断法を理解し、症例に応じた診断法および治療法を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎顔面骨の骨折</p>	田中 茂男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/10 (水) 2時限 10:40~12:10	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折 2	<p>・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 エ 下顎骨骨折</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 イ 骨折の様態 オ 関節突起骨折</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤骨折の治療原則を説明できる。</p>	田中 茂男
2017/05/17 (水) 1時限 09:00~10:30	顎・口腔の損傷 顎骨内副子固定	<p>【授業の一般目標】 顎顔面骨折の治療で顎骨内副子固定を理解するために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 観血的整復固定手術、骨切り術、顎骨再建に使用するプレート、ネジ等の特性和適応を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎骨固定用内副子について ・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(2) 外傷 *⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2017/05/17 (水) 2時限 10:40~12:10	顎骨の異常	<p>【授業の一般目標】 顎骨の変形・異常を説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨の変形を呈する疾患を診断し管理するため顎骨異常に対する診断法と治療方針を説明できる。 2. 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 3. 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 4. 顎変形症の治療方針について説明できる。 5. 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎骨の変形を呈する疾患 ・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	高橋 哲

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/17 (水) 2時限 10:40～12:10	顎骨の異常	<p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ク 先天異常と変形に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	高橋 哲
2017/05/24 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験①	<p>【授業の一般目標】 平常試験① 90分間の試験</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「口腔外科総論」から「顎・口腔の損傷顎骨内副子固定」までの範囲 ・準備学修時間：試験で合格点を取れるための時間</p> <p>【学修方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p>	近藤 壽郎 田中 茂男 高橋 康輔
2017/05/24 (水) 2時限 10:40～12:10	急性炎症と慢性炎症 (歯性病巣感染、 肉芽腫性炎も含む)	<p>【授業の一般目標】 急性炎症と慢性炎症について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 急性炎症と慢性炎症の病理学的特徴を学ぶ。 2. 炎症の経過と病理組織学的変化について説明できる。 3. 急性期と慢性期における炎症性細胞の種類と働きについて解説できる。 4. 炎症と細胞・組織傷害との関連性について述べるができる。 5. 循環障害と炎症との関わりについて説明できる。 6. 修復・再生と炎症との関連性について解説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：炎症の各型分類について ・準備学修時間：40分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 オ 急性炎症、慢性炎症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2017/05/31 (水) 1時限 09:00～10:30	歯性感染症	<p>【授業の一般目標】 歯性感染症について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 炎症の概要、局所症状、全身症状を理解し、治療方針を説明できる。 2. 歯性感染症の原因を理解した上で感染経路を説明できる。</p>	石井 達郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/31 (水) 1時限 09:00～10:30	歯性感染症	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：歯性感染症について ・準備学修時間： 40 分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 カ 歯性上顎洞炎</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *⑤菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等）を概説できる。</p>	石井 達郎
2017/05/31 (水) 2時限 10:40～12:10	歯性感染症	<p>【授業の一般目標】 歯性感染症について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨骨髄炎等の症状、治療方針が概説できる。 2. 歯性感染症である歯性扁桃周囲炎、口底の炎症、頬部の炎症の症状、治療方針が概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：歯性感染症の代表的な疾患について ・準備学修時間： 40 分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 9 歯槽骨・顎骨の炎症 オ 顎骨骨髄炎</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *⑤菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等）を概説できる。 ⑧歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 ⑨消炎手術を概説できる。</p>	石井 達郎
2017/06/07 (水) 1時限 09:00～10:30	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	<p>【授業の一般目標】 ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎（顎骨壊死）について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 主な炎症（骨髄炎）を概説できる。 2. ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死 ・準備学修時間： 60 分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	神野 良一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/07 (水) 1時限 09:00～10:30	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 9 歯槽骨・顎骨の炎症 ク 薬剤関連顎骨疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *⑦⑧主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等）を概説できる。 ⑨消炎手術を概説できる。</p>	神野 良一
2017/06/07 (水) 2時限 10:40～12:10	肉芽腫性炎 ①分類 ②病態	<p>【授業の一般目標】 肉芽腫性炎について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 肉芽腫性炎を理解する。 2. 肉芽腫性炎の種類を述べることができる。 3. 肉芽腫性炎の病態を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：肉芽腫性炎 肉芽腫性炎の種類と特徴 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 ク 肉芽腫性炎</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。</p>	山本 泰
2017/06/14 (水) 1時限 09:00～10:30	顎顔面の神経支配	<p>【授業の一般目標】 顎顔面の神経支配を述べるようになるために復習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎顔面の知覚、運動神経支配を理解する。 2. 自律神経を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脳神経 顎顔面領域の自律神経支配 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	池谷 美和
2017/06/14 (水) 2時限 10:40～12:10	消炎療法 ①種類 ②作用機序 ③適応症	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の炎症に対して行う消炎療法について説明できるようになるために学習する。</p>	藤井 彰 山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	口腔粘膜疾患の種類と特徴	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 口腔粘膜疾患を理解する。 口腔粘膜疾患の種類、病態、病理組織学的特徴を説明できる。 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着を概説できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：上皮の形態的および機能的な分類 結合組織の線維要素と細胞要素 皮膚と粘膜の基本構造と機能 口腔粘膜の部位別の特徴 準備学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 エ 口腔粘膜</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	岡田 裕之
2017/06/28 (水) 1時限 09:00～10:30	口腔粘膜疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 口腔粘膜疾患を理解する。 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着を説明できる。 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を特徴とする粘膜疾患を概説できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：口腔粘膜疾患の分類 準備学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 6 口腔粘膜疾患 ア 単純疱疹 <疱疹性口内炎></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	大木 秀郎 高橋 康輔
2017/06/28 (水) 2時限 10:40～12:10	全身疾患と口腔粘膜症状	<p>【授業の一般目標】 全身疾患の①症状として出現する口腔粘膜症状について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 全身疾患の口腔粘膜症状を理解する。 多彩な臨床症状を示す全身疾患の口腔粘膜症状を概説できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：全身疾患の口腔粘膜症状 準備学修時間：40分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	武川 寛樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/28 (水) 2時限 10:40～12:10	全身疾患と口腔粘膜症状	実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ク 舌、軟組織、唾液腺、リンパ節 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *③口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。 *⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 *⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。	武川 寛樹
2017/07/05 (水) 1時限 09:00～10:30	嚢胞性疾患	【授業の一般目標】 嚢胞性疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 嚢胞性疾患について理解する。 2. 顎骨嚢胞を説明できる。 3. 顎骨嚢胞の種類を述べられる。 4. 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎骨嚢胞 嚢胞類似疾患 ・準備学修時間： 40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 10 顎骨に発生する嚢胞性疾患 ア 歯根嚢胞 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。	西村 均 濱野 美緒 宇都宮 忠彦
2017/07/05 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患	【授業の一般目標】 嚢胞性疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨嚢胞を説明できる。 2. 嚢胞類似疾患を説明できる。 3. 嚢胞の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：嚢胞の種類 嚢胞の手術 ・準備学修時間： 40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】	西村 均 濱野 美緒 宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/05 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患	302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 10 顎骨に発生する嚢胞性疾患 サ 嚢胞に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。	西村 均 濱野 美緒 宇都宮 忠彦
2017/07/12 (水) 1時限 09:00～10:30	嚢胞性疾患	【授業の一般目標】 嚢胞性疾患を説明できるようになるために学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 軟組織嚢胞の種類を説明できる。 2. 口腔軟組織嚢胞の種類と特徴を説明できる。 3. 軟組織嚢胞の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 口腔軟組織嚢胞の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：軟組織嚢胞の種類 ・準備学修時間： 40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 4 軟組織に発生する嚢胞 ウ 粘液嚢胞 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。	西村 均 濱野 美緒 宇都宮 忠彦
2017/07/12 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患の画像診断	【授業の一般目標】 嚢胞性疾患の画像診断について説明できるようになるために学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 嚢胞性疾患について理解する。 2. 顎骨内歯源性嚢胞・顎骨内非歯源性嚢胞・嚢胞類似疾患・軟組織嚢胞の画像と所見を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：嚢胞性疾患の種類と画像の特徴 ・準備学修時間： 40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 シ CT 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 セ MRI 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	金田 隆 伊東 浩太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/12 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患の画像診断	E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	金田 隆 伊東 浩太郎
2017/07/19 (水) 1時限 09:00～10:30	歯源性腫瘍	【授業の一般目標】 歯源性腫瘍について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯源性腫瘍の分類を列記できる。 2. 歯源性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 3. 歯源性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 歯源性腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯源性腫瘍の分類 ・準備学修時間: 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ア 歯原生良性腫瘍 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。	近藤 壽郎 久山 佳代
2017/07/19 (水) 2時限 10:40～12:10	歯源性腫瘍の診断と治療	【授業の一般目標】 歯源性腫瘍について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯源性腫瘍の分類を列記できる。 2. 歯源性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 3. 歯源性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 歯源性腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯源性腫瘍の診断 歯源性腫瘍の治療 ・準備学修時間: 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 コ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 顎骨腫瘍の外科療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。	近藤 壽郎 久山 佳代
2017/09/06 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験②	【授業の一般目標】 平常試験② 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 「急性炎症と慢性炎症」から 「嚢胞性疾患の画像診断」までの範囲 ・準備学修時間: 試験範囲に必要な時間	近藤 壽郎 小宮 正道 小倉 直美 濱野 美緒 西村 均 高橋 康輔 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/06 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験②	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 小倉 直美 濱野 美緒 西村 均 高橋 康輔 小野 眞紀子
2017/09/06 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験②	<p>【授業の一般目標】 平常試験②</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：急性炎症と慢性炎症から「嚢胞性疾患の画像診断」までの範囲 ・準備学修時間：試験範囲の復讐のための時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	近藤 壽郎 小倉 直美 濱野 均 西村 眞紀子 小野 康輔 高橋
2017/09/21 (木) 1時限 09:00～10:30	非歯原性良性腫瘍 非歯原性悪性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 非歯原性良性腫瘍、非歯原性悪性腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 非歯原性良性腫瘍を分類できる。 2. 非歯原性良性腫瘍の特徴を説明できる。 3. 非歯原性悪性腫瘍を分類できる。 4. 非歯原性悪性腫瘍の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：非歯原性腫瘍の診断と治療 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ウ 非歯原性良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法（組織診、画像診断）および治療法を説明できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎 久山 佳代
2017/09/21 (木) 2時限 10:40～12:10	非歯原性良性腫瘍 非歯原性悪性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 非歯原性良性腫瘍、非歯原性悪性腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 非歯原性良性腫瘍を分類できる。 2. 非歯原性良性腫瘍の特徴を説明できる。 3. 非歯原性悪性腫瘍を分類できる。 4. 非歯原性悪性腫瘍の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：非歯原性腫瘍の診断と治療 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	近藤 壽郎 久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/21 (木) 2時限 10:40～12:10	非歯原性良性腫瘍 非歯原性悪性腫瘍	講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。	近藤 壽郎 久山 佳代
2017/09/28 (木) 1時限 09:00～10:30	前癌状態腫瘍類似疾患	【授業の一般目標】 前癌状態と腫瘍類似疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標(SBOs)】 1. 前癌状態の概念を理解し、特徴を説明できる。 2. 腫瘍類似疾患と腫瘍性疾患の鑑別を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 前癌病変と前癌状態腫瘍類似疾患の種類 ・準備学修時間: 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 セ 前癌病変、前癌状態 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。	酒巻 裕之 岡田 裕之
2017/09/28 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔癌の臨床病態 口腔癌の転移	【授業の一般目標】 口腔癌の臨床病態、口腔癌の転移について説明できるようになるために学習する。 【行動目標(SBOs)】 1. 口腔癌の臨床病態とくに発生部位別特徴を説明できる。 2. 口腔癌の転移の様相を説明できる。 3. TNM分類, 病期分類を列記できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 口腔癌の臨床病態 ・準備学修時間: 40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。	近藤 壽郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/28 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔癌の臨床病態 口腔癌の転移	<p>*⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2017/10/05 (木) 1時限 09:00～10:30	超音波検査、核医学検査による顎口腔領域の画像診断	<p>【授業の一般目標】 超音波検査、核医学検査による顎口腔領域の画像診断について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査による顎口腔領域の画像診断ができる。 2. 核医学検査による顎口腔領域の画像診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：超音波検査 核医学検査 顎口腔の正常像 ・準備学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 タ 超音波検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ソ シンチグラフィ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。</p>	金田 隆 村松 輝晃
2017/10/05 (木) 2時限 10:40～12:10	CT、MRIによる顎口腔領域の画像診断	<p>【授業の一般目標】 CT、MRIによる顎口腔領域の画像診断について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. CT、MRIによる顎口腔の正常像を述べることができる。 2. CTによる顎口腔領域の画像診断ができる。 3. MRIによる顎口腔領域の画像診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：CT、MRIの原理 ・準備学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 セ MRI</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 シ CT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/10/05 (木) 2時限 10:40～12:10	CT、MRIによる顎 口腔領域の画像診 断		金田 隆
2017/10/12 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔癌の診断 口腔癌の外科的治 療	<p>【授業の一般目標】 口腔癌の診断、口腔癌の外科的治療について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔癌の細胞診、生検などの検査法を列記できる。 2. 口腔癌の臨床的診断過程を説明できる。 3. 口腔癌の外科的治療を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔癌治療 ・準備学修時間：50 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑩口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2017/10/12 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔癌の遺伝子治 療	<p>【授業の一般目標】 口腔癌の遺伝子治療について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔癌の遺伝子診断および遺伝子導入療法等に関する最先端医療について概説する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔癌の遺伝子診断 遺伝子治療法 ・準備学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 d 免疫療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	鶴澤 一弘
2017/10/19 (木) 1時限 09:00～10:30	インプラント前処 置	<p>【授業の一般目標】 インプラント前処置について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療における骨増生手術の意義を理解する。 2. 骨増生手術の適応症、術式を説明できる。 3. インプラント周囲軟組織の意義を理解し、手術の適応症、術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎口腔外科領域のインプラント前処置</p>	塚原 宏泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/10/19 (木) 1時限 09:00～10:30	インプラント前処置	<p>・準備学修時間： 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 9 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置による治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 エ 治療計画の立案 カ 前処置 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画 オ 外科処置</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	塚原 宏泰
2017/10/19 (木) 2時限 10:40～12:10	唾液腺の特徴と唾液腺疾患の診断法 唾液腺疾患の種類と治療①	<p>【授業の一般目標】 唾液腺の特徴と唾液腺疾患の診断法，唾液腺疾患の種類と治療について説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.唾液腺の解剖学的，生理学的特徴について理解する。 2.唾液腺疾患の診断法を理解する。 3.唾石の成因，形態学的特徴を説明できる。 4.唾石症の症状，治療法を説明できる。 5.唾液腺の炎症性疾患について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：唾液腺の特徴 唾石症 ・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 12 唾液腺疾患 シ 唾石症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 12 唾液腺疾患 エ 口腔乾燥症 キ 唾液腺炎 ク ウイルス性唾液腺炎 コ Sjogren 症候群 シ 唾石症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjogren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	田中 茂男
2017/10/26 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液腺疾患の種類と治療② 唾石症、唾液腺炎、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾液腺疾患の病理組織学的特徴、画像所見	<p>【授業の一般目標】 唾液腺疾患の種類と治療について説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.シェーグレン症候群の特徴，症状，治療法を説明できる。 2.唾液腺の非腫瘍性疾患について理解する。 3.唾液腺腫瘍について理解する。 4.唾液腺疾患の病理組織学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	田中 茂男 宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/10/26 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液腺疾患の種類と治療② 唾石症、唾液腺炎、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾液腺疾患の病理組織学的特徴、画像所見	<p>・準備学修項目：シェーグレン症候群の診断基準 唾液腺の炎症性疾患</p> <p>・準備学修時間：40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 12 唾液腺疾患 コ Sjögren 症候群</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	田中 茂男 宇都宮 忠彦
2017/10/26 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔乾燥症（ドライマウス）と関連する疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔乾燥症（ドライマウス）と関連する疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔乾燥症（ドライマウス）の原因について説明できる。 2. 口腔乾燥症（ドライマウス）の症状について説明できる。 3. 口腔乾燥症（ドライマウス）と関連する疾患を説明できる。 4. シェーグレン症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔乾燥症（ドライマウス）について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(7) 唾液腺疾患 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 E-2-4)-(10) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害 *⑤口腔乾燥を概説できる。</p>	青木 暁宣
2017/11/02 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液腺腫瘍	<p>【授業の一般目標】 唾液腺腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 唾液腺腫瘍の病理組織学的な特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の臨床的特徴と治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：唾液腺腫瘍 唾液腺腫瘍のWHO分類</p> <p>・準備学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 12 唾液腺疾患 タ 良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p>	近藤 壽郎 宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/11/02 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液腺腫瘍	E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。	近藤 壽郎 宇都宮 忠彦
2017/11/02 (木) 2時限 10:40～12:10	顎関節の疾患	【授業の一般目標】 顎関節の疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節内障の病態生理を説明できる。 2. 変形性関節症の病態生理を説明できる。 3. 顎関節内障および変形性関節症の臨床症状を説明できる。 4. その他の顎関節疾患を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎関節の解剖・生理 ・準備学修時間： 40 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 14 顎関節疾患 サ 顎関節症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患 (外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症) の症状、診断法および治療法を概説できる。	近藤 壽郎 小倉 直美
2017/11/09 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験③	【授業の一般目標】 平常試験③ 90分間の試験 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「腫瘍」から「唾液腺腫瘍」までの範囲 ・準備学修時間：試験を受験するために必要な時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】	近藤 壽郎 小倉 直美 田中 茂男 青木 暁宣
2017/11/09 (木) 2時限 10:40～12:10	顎関節の疾患	【授業の一般目標】 顎関節の疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節疾患の外科的治療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎関節疾患の治療 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 14 顎関節疾患 ス 顎関節疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患	近藤 壽郎 小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/11/09 (木) 2時限 10:40~12:10	顎関節の疾患	<p>*①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患(外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症)の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	近藤 壽郎 小倉 直美
2017/11/16 (木) 1時限 09:00~10:30	神経疾患 精神疾患	<p>【授業の一般目標】 神経疾患および精神疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 精神疾患について述べられる。 2. 神経疾患について述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔周辺の症状を発現する精神性疾患 ・準備学修時間：50 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *①三叉神経痛の原因、症状および治療法を説明できる。 *②口腔・顔面痛について概説できる。 *④三叉神経麻痺(感覚麻痺、運動麻痺)の原因、症状および治療法を説明できる。</p>	和氣 裕之
2017/11/16 (木) 2時限 10:40~12:10	手術の患者管理 手術の基本手技	<p>【授業の一般目標】 手術の患者管理、手術の基本手技について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 手術での患者管理および基本手技について理解する。 2. 顎口腔外科手術で用いられる手術手技を理解する。 3. 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点について理解する。 4. 患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期および術前・術後管理について説明できる。 5. 外科処置の基本である消毒法・滅菌法を理解し、列挙することができる。 6. 切開法、止血法および縫合法の基礎を理解し、その方法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎口腔外科手術での患者管理 基本手術手技 ・準備学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 キ 口腔の小手術</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 オ 穿刺、切開排膿、ドレナージ カ 抜歯 ク 移植、再植 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	小宮 正道
2017/11/30 (木) 1時限 09:00~10:30	血液疾患	<p>【授業の一般目標】 血液疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/11/30 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患	<p>1. 悪性リンパ腫の臨床的病態を述べるができる。 2. 多発性骨髄腫の臨床的病態を述べるができる。 3. 多発性骨髄腫の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 4. 無顆粒球症の臨床的病態を述べるができる。 5. 無顆粒球症の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 6. GVHD の臨床的病態を述べるができる。 7. GVHD の原因・対策を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人体の血液成分 人体の白血球の種類 各種白血球の働き ・準備学修時間：40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 16 口腔症状を呈する疾患 カ 血液疾患、出血性素因 b 白血球系疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。 *⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 *⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。</p>	福本 雅彦
2017/11/30 (木) 2時限 10:40～12:10	補綴前処置の外科 小帯切除術 義歯性線維腫の切除手術 迷入歯の摘出手術 上顎洞根治手術 上顎洞口腔瘻閉鎖術	<p>【授業の一般目標】 補綴前処置の外科、小帯切除術、義歯性線維腫の切除手術、迷入歯の摘出手術、上顎洞根治手術、上顎洞口腔瘻閉鎖術について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 各小帯の異常により発症する障害を理解する。 2. 口腔外科における補綴前処置である小帯切除手術の適応症と術式を述べるができる。 3. 義歯性線維腫の定義、原因を理解し、臨床的な病態像を述べるができる。 4. 抜歯の偶発症のひとつである歯の迷入の原因を理解し、迷入歯摘出術術式を述べるができる。 5. 歯性上顎洞炎を理解し上顎洞根治手術と上顎洞口腔瘻閉鎖術の適応基準、術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎口腔外科領域の補綴前処置の外科 迷入歯の摘出手術 上顎洞根治手術 上顎洞口腔瘻閉鎖術 ・準備学修時間：50 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 キ 口腔の小手術</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *②小手術の合併症（偶発症）を説明できる。 *④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 *⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 *⑧器具の滅菌、消毒について説明できる。 ⑨埋伏歯（智歯を含む）の抜歯法を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー</p>	枝 卓志

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/11/30 (木) 2時限 10:40~12:10	補綴前処置の外科 小帯切除術 義歯性線維腫の切 除手術 迷入歯の摘出手術 上顎洞根治手術 上顎洞口腔瘻閉鎖 術	⑧歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治 療法を説明できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、 画像診断) および治療法を説明できる。	枝 卓志
2017/12/07 (木) 1時限 09:00~10:30	口腔外科演習オリ エンテーション	【授業の一般目標】 口腔外科で行われる診察・手指消毒・浸潤麻酔・単純拔牙・縫合が行えるよう になるために必要な知識・技能を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部診察法を説明できる。 2. 手指消毒の手順が説明できる。 3. 滅菌手袋の装着法を説明できる。 4. 浸潤麻酔法を説明できる。 5. 単純拔牙について説明できる。 6. 縫合法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：演習項目につて ・準備学修時間： 20 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 X 治療 5 手術基本手技 カ 拔牙 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ①清潔操作を実施できる。 ②拔牙(小手術を含む)の器材の準備ができる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ④局所麻酔を安全に実施できる。 ⑤単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。	西村 均
2017/12/07 (木) 2時限 10:40~12:10	軟組織の再建 顎骨再建軟組織の 再建	【授業の一般目標】 軟組織の再建、顎骨再建軟組織の再建について説明できるようになるために学 習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 腫瘍手術後の欠損に対する再建法を述べ、これらの再建法の意義を説明でき る。 2. 骨移植について説明できる。 3. 骨髄移植について説明できる。 4. 骨軟骨移植について説明できる。 5. 下顎骨の再建法について説明できる。 6. 上顎骨の再建法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔顎顔面の再建法 ・準備学修時間： 50 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 9 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置による治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	横尾 聡

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/12/07 (木) 2時限 10:40～12:10	軟組織の再建 顎骨再建軟組織の再建	E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。	横尾 聡
2017/12/14 (木) 1時限 09:00～10:30	局所麻酔	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔法について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 三叉神経Ⅱ枝, Ⅲ枝の走行を述べられる 2. 局所麻酔法の種類, 手技を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 局所麻酔法 浸潤麻酔法, 伝達麻酔法 ・準備学修時間: 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (3) 局所麻酔法 *①局所麻酔の目的を説明できる。 *②局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 *③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。 *④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴および臨床使用上の注意を説明できる。 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 *⑥局所麻酔時の合併症 (偶発症) を説明できる。</p>	濱野 美緒
2017/12/14 (木) 2時限 10:40～12:10	頭頸部の診察 手指消毒 単純拔牙に使用する器具	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の診察、手指消毒、が実施できるようになるために必要な技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の診察に必要な技能、態度を習得する。 2. 手指消毒法を習得する。 3. 単純拔牙に必要な器具器材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 頭頸部の診察法 手指消毒法 拔牙に必要な器具 ・準備学修時間: 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ②顔面の対称性の診察ができる。 ③下顎の開閉口路の診察ができる。 ④顎関節部の診察ができる。 ⑤頭頸部の筋肉の診察ができる。 ⑥顎下リンパ節の診察ができる。 F-6 口腔外科系実習 ①清潔操作を実施できる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 池谷 美和 西村 均 青木 暁宣 山本 泰 高橋 康輔 濱野 美緒 石井 達郎 酒巻 裕之 小野 真紀子 山口 桜子 河島 睦 秋葉 正一 釜崎 直人 菅谷 和之雄 野上 俊雄 樋口 和夫 湊 耕一 村井 正彦 小俣 裕昭 田島 秀人 田所 英之 中山 桂二 林 裕 神野 良一 戸邊 真希子
2017/12/21 (木) 1時限 09:00～10:30	拔牙学	<p>【授業の一般目標】 拔牙について説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 拔牙の適応症、禁忌症を説明できる。 2. 拔牙の偶発症を説明できる。 3. 拔牙の手技を説明できる。 4. 単純拔牙、難拔牙、埋伏歯の拔牙について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 拔牙鉗子 拔牙手技</p>	近藤 壽郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/12/21 (木) 1時限 09:00～10:30	拔牙学	<p>・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *①拔牙の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *②小手術の合併症（偶発症）を説明できる。 *③拔牙（小手術）に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 *④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 ⑨埋伏歯（智歯を含む）の拔牙法を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2017/12/21 (木) 2時限 10:40～12:10	局所麻酔 拔牙	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔と拔牙が実施できるようになるために必要な技能を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局所麻酔の手技を説明できる。 2. 局所麻酔が実施できる。 3. 適切な拔牙鉗子を選択できる。 4. 拔牙操作が実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：局所麻酔 拔牙 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（L S）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ①清潔操作を実施できる。 ②拔牙（小手術を含む）の器材の準備ができる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ④術野の消毒を実践できる。 ⑤局所麻酔を安全に実施できる。 ⑥単純拔牙を実施できる。</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 池谷 美和 西村 均 青木 暁宣 高橋 康輔 濱野 美緒 酒巻 裕之 石井 達郎 小野 真紀子 山口 桜子 河島 睦 秋葉 正一 釜崎 直人 菅谷 和之雄 野上 俊雄 樋口 和夫 藤本 陽子 藤 耕一 村井 正彦 小侯 裕昭 田島 秀人 田所 英之 中山 桂二 林 裕 伊藤 耕一 神野 良一 戸邊 真希子 山本 泰
2018/01/11 (木) 1時限 09:00～10:30	拔牙学 切開縫合	<p>【授業の一般目標】 単純拔牙、複雑拔牙、埋伏歯の拔牙について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 粘膜切開について説明できる。 2. 粘膜の剥離について説明できる。 3. 歯肉粘膜、皮膚の解剖学的特徴を理解する。 4. 拔牙患者の患者管理について説明できる。 5. すべての拔牙の手順を説明できる。 6. 縫合について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：拔牙の手技 拔牙に付随する操作 ・準備学修時間： 40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習</p>	石井 達郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/01/11 (木) 1時限 09:00～10:30	拔牙学 切開縫合	②拔牙（小手術を含む）の器材の準備ができる。 ⑥単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。	石井 達郎
2018/01/11 (木) 2時限 10:40～12:10	拔牙学 手指消毒 縫合 局所麻酔 頭頸部診察	<p>【授業の一般目標】 拔牙と付随する縫合操作ができるようになるために必要な技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 拔牙の手技を説明できる。 2. 拔牙器具を選択できる。 3. 切開操作ができる。 4. 縫合について説明できる。 5. 縫合ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：拔牙 縫合 ・準備学修時間：40 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ⑥単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 西村 均 青木 暁宣 池谷 康輔 高橋 美和 濱野 美緒 酒巻 裕之 石井 達郎 小野 眞紀子 山口 桜子 河島 睦 秋葉 正一 菅谷 直和 野上 和之 樋口 俊雄 藤本 陽子 湊 耕一 村井 正彦 小俣 裕昭 田島 秀人 田所 英之 中山 桂二 林 裕 伊藤 良一 神野 真希子 戸邊 真 山本 泰
2018/01/18 (木) 1時限 09:00～10:30	頭頸部診察、手指 消毒、局所麻酔、 拔牙学、縫合	<p>【授業の一般目標】 頭頸部診察、手指消毒、局所麻酔、拔牙、縫合ができるようになるために実習をする。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭頸部診ができる。 2. 手指消毒ができる。 3. 局所麻酔ができる。 4. 拔牙ができる。 5. 縫合ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭頸部診察・手指消毒・局所麻酔・拔牙・縫合 ・準備学修時間：50 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ケ 下顎位検査</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ③下顎の開閉口路の診察ができる。 ④顎関節部の診察ができる。 ⑤頭頸部の筋肉の診察ができる。 ⑥顎下リンパ節の診察ができる。 F-6 口腔外科系実習 ②拔牙（小手術を含む）の器材の準備ができる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ⑤局所麻酔を安全に実施できる。 ⑥単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 西村 均 青木 暁宣 池谷 康輔 高橋 美和 濱野 美緒 小野 眞紀子 山口 桜子 河島 睦 石井 達郎 神野 良一 戸邊 真希子 山本 泰
2018/01/18 (木) 2時限 10:40～12:10	頭頸部診察、手指 消毒、局所麻酔、 拔牙学、縫合	<p>【授業の一般目標】 頭頸部診察、手指消毒、局所麻酔、拔牙、縫合ができるようになるために実習をする。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭頸部診察ができる。 2. 手指消毒ができる。 3. 局所麻酔ができる。 4. 拔牙ができる。</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 西村 均 青木 暁宣 池谷 康輔 高橋 美和 濱野 美緒 石井 達郎 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/01/18 (木) 2時限 10:40~12:10	頭頸部診察、手指消毒、局所麻酔、抜歯学、縫合	<p>5. 縫合ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭頸部診察・手指消毒・局所麻酔・抜歯・縫合 ・準備学修時間：50 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 カ 抜歯</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ②下顎の開閉口路の診察ができる。 ④顎関節部の診察ができる。 ⑤頭頸部の筋肉の診察ができる。 ⑥顎下リンパ節の診察ができる。 F-6 口腔外科系実習 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ④術野の消毒を實踐できる。 ⑤局所麻酔を安全に實施できる。 ⑥単純抜歯を實施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を實施できる。</p>	山口 桜子 河島 睦良一 神野 眞希子 戸邊 泰 山本
2018/01/25 (木) 1時限 09:00~10:30	平常試験④	<p>【授業の一般目標】 平常試験④</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「顎関節の疾患」から最後まで（演習は除く） ・準備学修時間：必要な時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 小倉 直美 小野 眞紀子 西村 均
2018/01/25 (木) 2時限 10:40~12:10	平常試験④	<p>【授業の一般目標】 平常試験④</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「顎関節の疾患」から最後まで（演習は除く） ・準備学修時間：必要な時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	近藤 壽郎 小宮 正道 小倉 直美 西村 均 小野 眞紀子